

2022年度 乗務員年間教育計画表

2022年4月1日作成 有限会社いまいちハロー観光交通

| 月 | 指導項目 | 指導内容 | 外部教育 |
|-----|--|---|---------------------------------------|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車を運転する場合の心構え ・春の交通安全運動について | <ul style="list-style-type: none"> ・運行の安全及び旅客の安全安心を確保するとともに、他の運転者の模範となることが使命であることを自覚させる。 ・初心者ドライバーの手本となろう。 | 労働基準法講習会(役員) |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転支援装置に関する性能の理解不足や過大評価により事故が発生する場合があります。 ・運転者が事故の特徴を理解させ、運転支援装置の機能を正確に把握することの必要性を理解させる。 | |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転者がバス運行乗客の安全を確保するために守るべき交通ルールや、安全確認方法を理解させる。 | 事故対策講習会(役員) |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険予知訓練の手法を用いて、危険の予測及び回避法を理解させ技能を習得させる。 | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転者の運転適性に応じた安全運転について ・健康診断 | <ul style="list-style-type: none"> ・適正診断の結果に基づき、個々の運転者自からの運転行動の特性を自覚させ、運転者のストレス等の身体の状態に配慮した適正な指導を行う。 | 運行管理者講習(資格保有者) |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・乗客が乗降する時の安全を確保する為に留意する事項 ・秋の交通安全運動について | <ul style="list-style-type: none"> ・乗降時の乗客の安全を確保、高齢者・障害者への配慮など、乗降口の扉の開閉時における事故事例の学習 ・秋の交通安全運動について | 運輸安全マネジメントセミナー(役員) |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故のに関わる運転者の生理的及び心理的要因の対処方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・長時間連続運転による過労、生理的要因及び慣れや自分の運転技能への過信による集中力の欠如の生理的要因が交通事故を引き起こす恐れがある事を実例を示し理解させる。 | |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の重要性について | <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果を用いて、健全な生活習慣、適切な健康管理について理解、指導をする | 運輸安全マネジメントセミナー(役員) |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等、自社内での共有 ・ドライブレコーダーの記録を利用した運転手の運転特性に応じた安全運転 ・年末年始の輸送等に関する安全総点検について | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハット体験等報告事例により、加速装置、制動装置及び急なかじ取り装置の操作検証。 ・ドライブレコーダーの記録を活用し、当該運転者に自身の運転特性を把握させ、指導を行う。 ・年末年始の輸送等に関する安全総点検について ・健康状態の把握 | 整備管理者講習(資格保有者) |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車の構造上の特性 ・適正診断 ・救急救命法 | <ul style="list-style-type: none"> ・車高、視野、死角、内輪差及び制動距離等の確認と把握不足による交通事故事例と特性の把握の必要性を理解させる。 ・自己の改善点など ・外部資格保有者による講習会 | 救命救急講習(全員) |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急ブレーキ、急ハンドルによる事故の説明、車内装備品を活用及び運転費方法を理解させる ・避難誘導手順の確認と指導 | 運輸安全マネジメントセミナー(役員) |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転を行うためには、運行路線経路の道路及び交通の状況について事前に情報を収支し、把握しておく必要があること。 ・外部(ディーラー)による講習会 | 外部(ディーラーによる)講習会(ドライバー)、安全マネジメント会議(役員) |